

2019年3月期 通期 決算説明資料

第**155**期

2018年4月1日～2019年3月31日

2019年4月25日

代表取締役 会長兼社長 坂本 隆司



業績の概要（前期比較）



連結

売上高は過去最高、利益は全て歴代2位

単位：百万円

	2018年3月期	2019年3月期	前期比増減	
			金額	増減率 (%)
売上高	56,955	59,574	2,619	4.6
営業利益	5,053	4,341	△712	△14.1
経常利益	4,725	4,175	△550	△11.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,351	2,581	△770	△23.0

増収 売上高 : 機能材料セグメントのIT・電子材料用途など高付加価値品が顕著に伸長

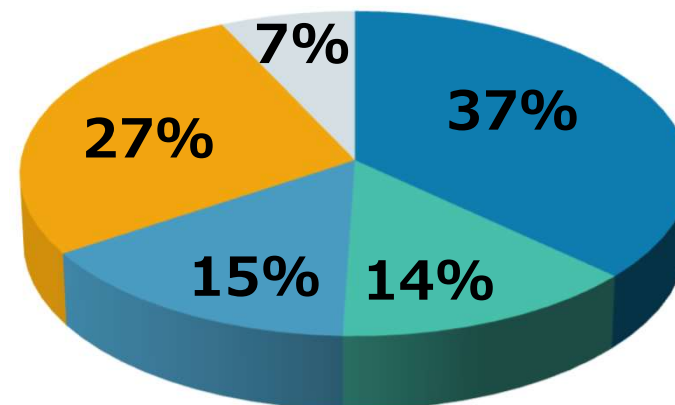
減益 営業利益 : ライフサイエンス事業をはじめ、今後の安定成長に向けた研究開発促進・強化のための費用がかさんだことから減益

減益 経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益 : 営業外収支は改善するも、前期は不動産売却益が発生したことから大幅な減益

セグメント別売上高構成比の推移

連結

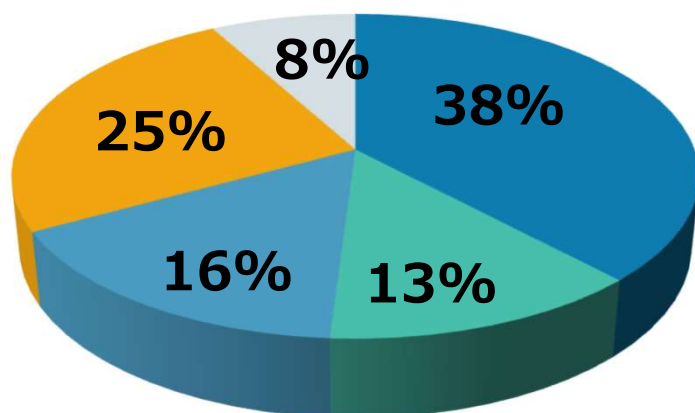
売上高：595億74百万円



2019年3月期

- 界面活性剤
- アメニティ材料
- ウレタン材料
- 機能材料
- 電子デバイス材料

売上高：569億55百万円

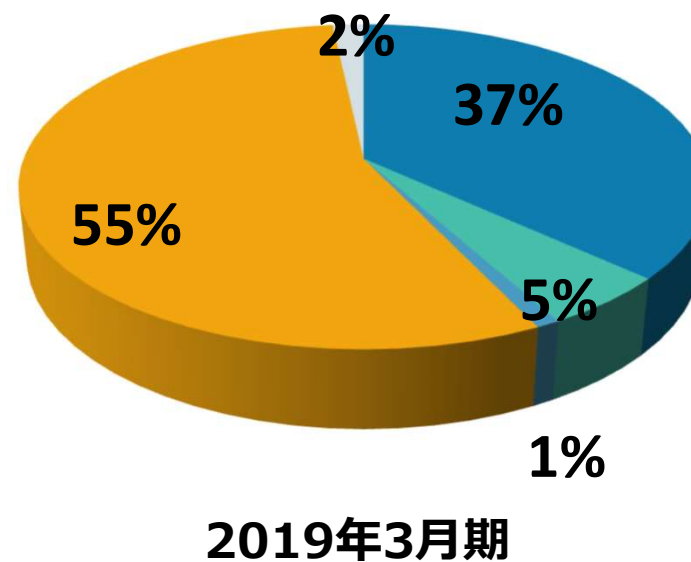


2018年3月期

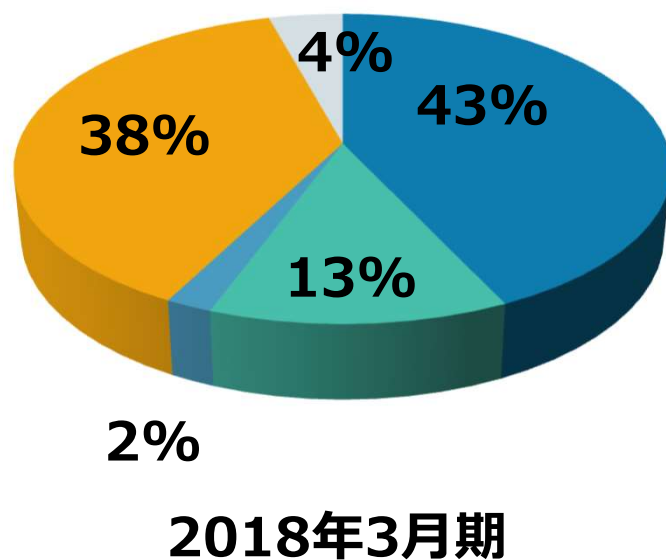
セグメント別営業利益構成比の推移

連結

営業利益：43億41百万円



営業利益：50億53百万円



- 界面活性剤
- アメリティ材料
- ウレタン材料
- 機能材料
- 電子デバイス材料

連結

1909年の創業以来、高機能界面活性剤を提供している事業です。

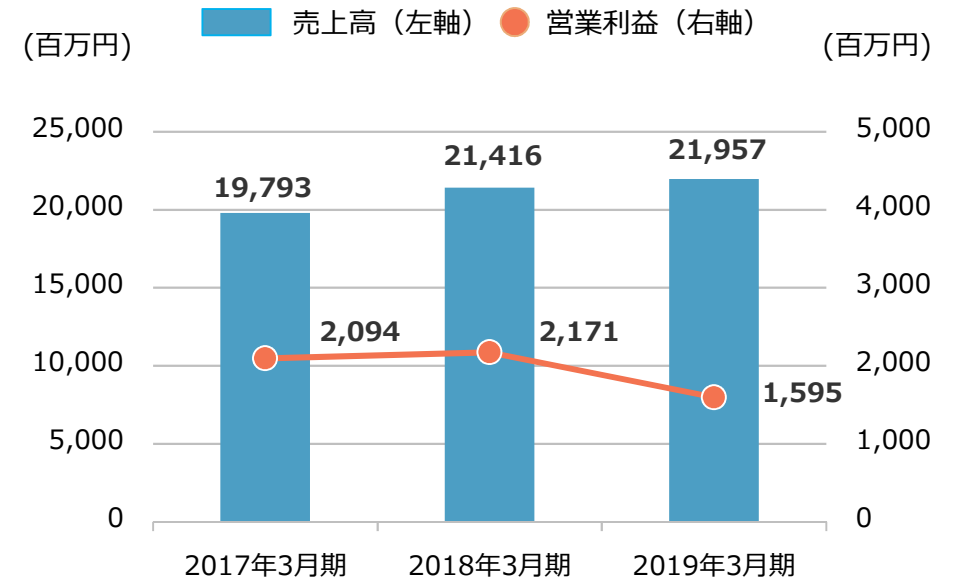
売上高： 219億57百万円 +2.5%
 営業利益： 15億95百万円 △26.5%

売上高：好調に推移

- 石けん・洗剤用途は大きく落ち込み
- IT・電子材料用途、塗料・色材用途は好調

営業利益：減益

- 石けん・洗剤用途の売上高の落ち込み
- 新製品の試作研究費用増



IT・電子材料用途



好調

石けん・洗剤用途



大幅な減益

塗料・色材



好調

セグメント業績 アメニティ材料

連結

生活環境において快適性を求める材料や周辺応用技術を提供している事業です。

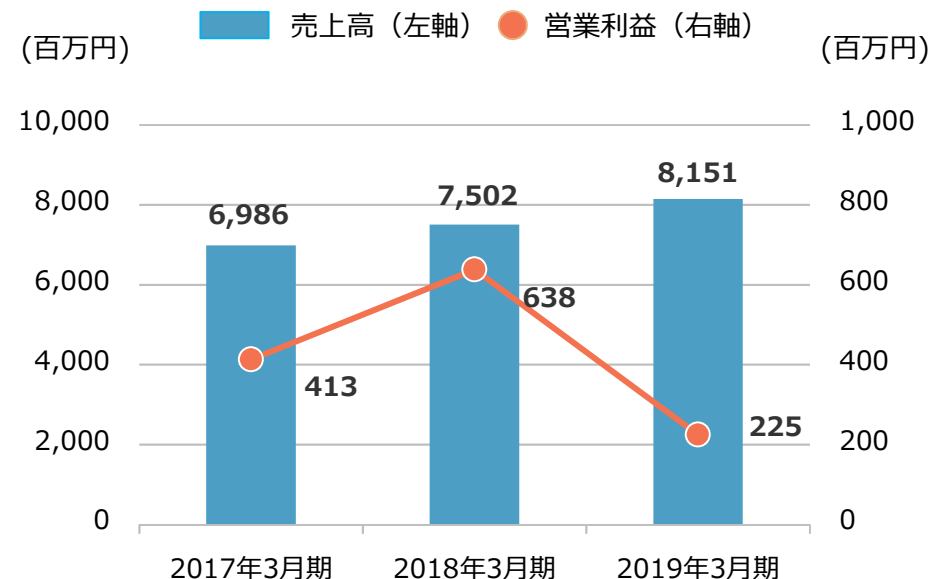
売上高： 81億51百万円 +8.7%
 営業利益： 2億25百万円 △64.7%

売上高：伸長

- 香粧品、食品用途が好調
- エネルギー・環境用途が伸長

営業利益：減益

- ライフサイエンス事業の研究開発費用増
- SEの欧州参入によるREACH登録費用増



ライフサイエンス



大幅な減益



香粧品用途



減益



食品用途



減益



セグメント業績 ウレタン材料

連結

土木・建築材料、塗料、接着剤、電気絶縁材料など
ウレタン用原料を提供している事業です。

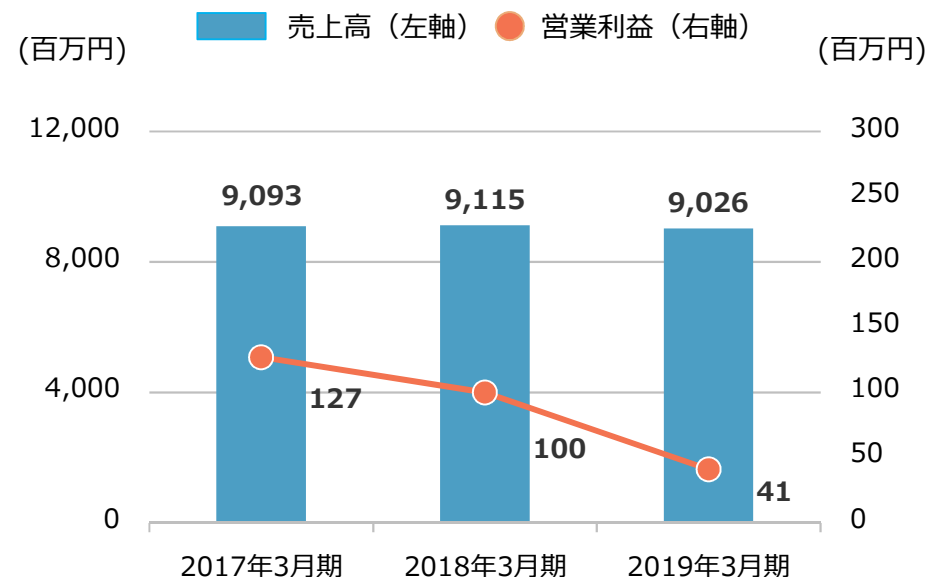
売上高： 90億26百万円 $\triangle 1.0\%$
営業利益： 41百万円 $\triangle 59.0\%$

売上高：やや低迷

- IT・電子用途は好調に推移
- 土木用途は大きく落ち込み

営業利益：減益

- 土木用薬剤の売上高の落ち込み
- 採算是正による値上げ効果



建築用途



改善



土木用途 (岩盤固結)



大幅な減益



合成潤滑油用途



やや改善



連結

家電製品や生活の必需品用途に、難燃剤、光硬化樹脂や水系ウレタン樹脂などの製品を提供している事業です。

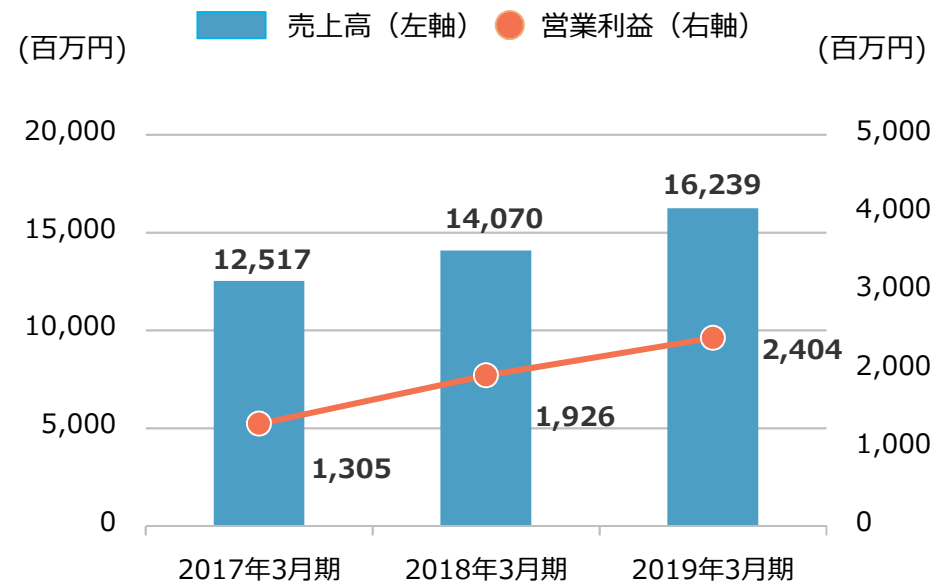
売上高： 162億39百万円 +15.4%
 営業利益： 24億4百万円 +24.8%

売上高：大幅に伸長

- IT・電子材料用途は顕著に伸長
- プラスチック用難燃剤は顕著に伸長

営業利益：増益

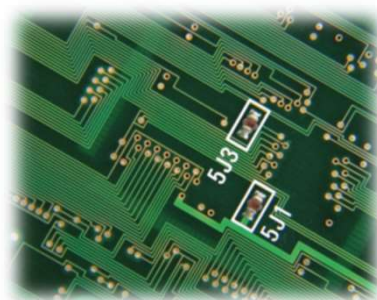
- 高付加価値品の顕著な売上高の伸長



電子材料用途



大幅な増益



プラスチック用難燃剤



伸長



連結

家電や電子部品用途に、セラミックス材料などを提供している事業です。

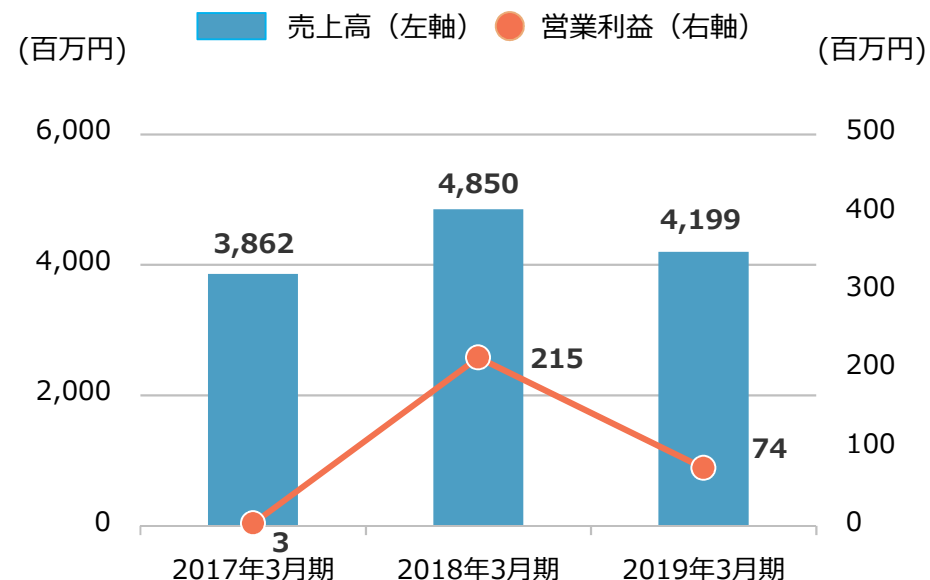
売上高： 41億99百万円 \triangle 13.4%
 営業利益： 74百万円 \triangle 65.5%

売上高： 低迷

- 太陽電池用途は伸長
- セラミックス材料用途はやや低迷

営業利益： 減益

- 売上高の低迷
- 電池向けの新たな素材開発費用が発生



太陽電池用途



伸長



セラミックス材料用途



やや低迷



3/28 ライフサイエンス事業の 拠点となる工場用地を取得

医薬品製剤、ヘルスケア製品等の製造を
予定しており、GMP認定取得を目指します。



所在地 : 岡山県加賀郡吉備中央町
土地面積 : 約76,000m²

新設備の竣工式

製造プロセスの高効率化、
品質向上を実現するIoT技術
を導入

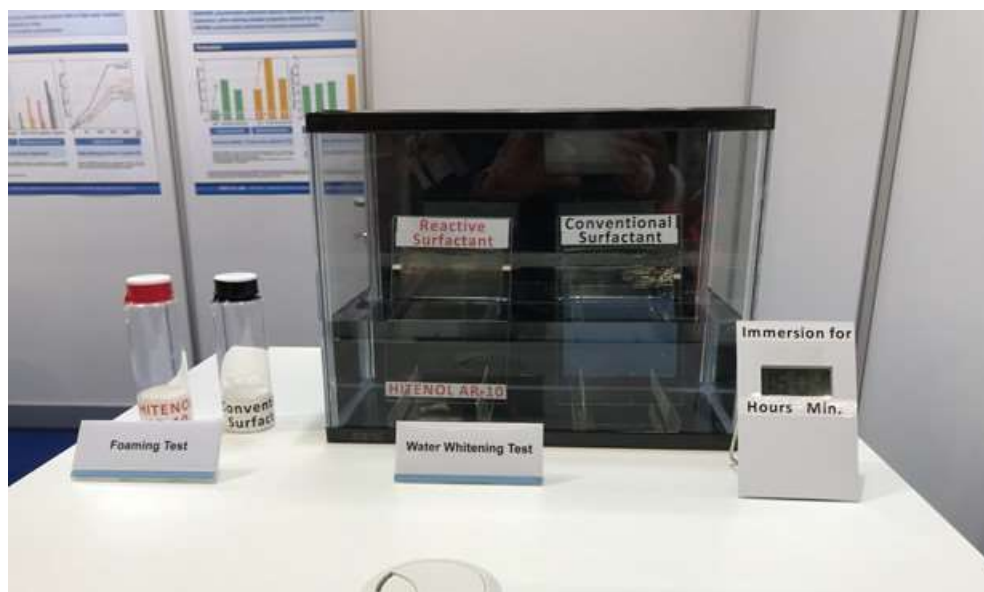


2019年4月3日

機能性ウレタン製品
製造設備 2019年4月竣工

「EUROPEAN COATINGS SHOW 2019」に出展

反応性界面活性剤「アクアロンシリーズ」を展示しました。
ヨーロッパの水系塗料、粘接着剤市場に向け、高機能化に対応してまいります。



2019年3月 ドイツ・ニュルンベルグ

出展社数： 46カ国、1,156社
来場者数：124カ国、約30,500人

連結業績推移および予想

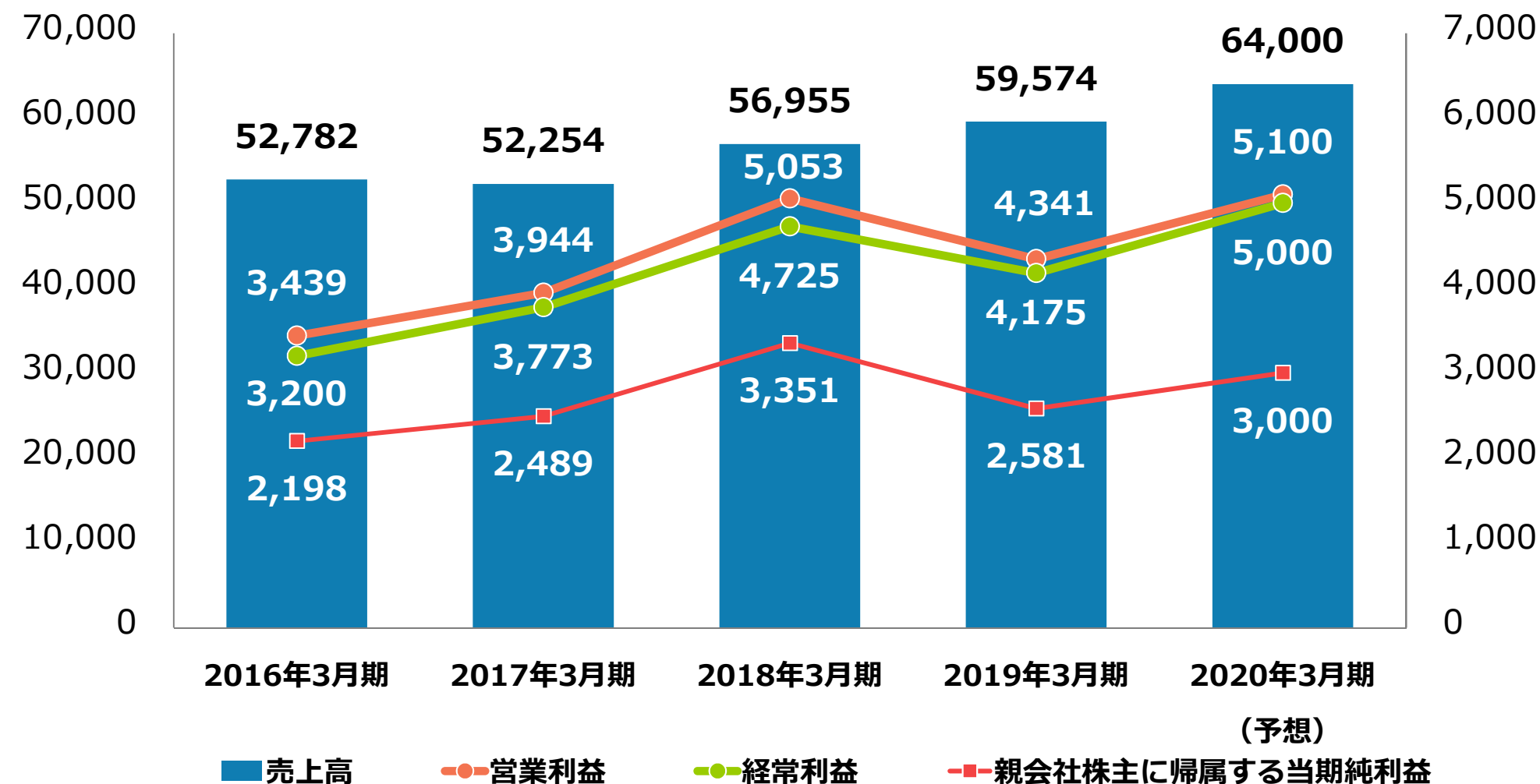


連結

単位：百万円

【売上高】

【営業利益】



ご参考資料

参考資料：連結比較貸借対照表の概要



連結

単位：百万円

	2018年 3月期末	2019年 3月期末	前期末比 増減額		2018年 3月期末	2019年 3月期末	前期末比 増減額
流動資産	40,587	39,361	△1,226	負債	41,697	42,315	618
現預金	11,523	7,485	△4,038	買掛債務	12,222	12,926	704
売上債権	16,515	17,872	1,357	有利子負債	24,750	24,190	△560
たな卸資産	9,949	11,936	1,987	その他	4,725	5,199	474
その他	2,600	2,068	△532	純資産	31,960	33,591	1,631
固定資産	33,071	36,545	3,474	株主資本	29,076	30,998	1,922
有形固定資産	27,584	29,724	2,140	その他の包括利益累計額	1,082	325	△757
無形固定資産	378	1,348	970	非支配株主持分	1,801	2,266	465
投資・その他の資産	5,108	5,472	364				
合 計	73,658	75,906	2,248	合 計	73,658	75,906	2,248

参考資料：連結キャッシュ・フロー計算書の概要



連結

単位：百万円

	2018年3月期	2019年3月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,017	3,236	△1,781
投資活動におけるキャッシュ・フロー	△1,130	△5,694	△4,564
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,858	△1,510	348
現金及び現金同等物に係る換算差額	78	△155	△233
現金及び現金同等物の増減額(△は減少額)	2,106	△4,123	△6,229
現金及び現金同等物の期末残高	11,402	7,278	△4,124

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画、予測したものであります。実際の業績などは、今後のさまざまな条件、要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

第一工業製薬株式会社

総合企画本部 広報IR部

TEL:075-323-5951

E-mail: d-IR@dks-web.co.jp